

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 第3回 学術教育セミナーのご案内

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会
理事長 今 井 裕
学術研修委員会委員長 朝 波 惣一郎

一般社団法人日本有病者歯科医療学会は、学術教育セミナーを下記要領にて実施することになりました。

皆様の参加をお待ちいたしております。

開催日時：平成 25 年 10 月 6 日（日） 9：20～16：30

開催場所：国際医療福祉大学三田病院 11 階 三田ホール

〒108-8329 東京都港区三田1-4-3

メインテーマ：「有病者のための医療連携—すぐに役立つ医科とのやりとり—」

プログラム

- 8：30～ 受付開始
- 9：20～ 開会のあいさつ
- 9：30～10：30 「大きく変わった糖尿病治療」 国際医療福祉大学三田病院 内科 小山一憲 教授
- 10：30～11：30 「是非とも知っておきたい心臓病と歯科診療の関連」
東京歯科大学市川総合病院 循環器内科 大木貴博 准教授
- 12：00～13：00 ランチョンセミナー
「どんな薬？新しい経口抗凝固薬の基本をお教えます」
東京女子医科大学神経内科 長尾毅彦 講師
- 13：00～14：00 「よくある呼吸器疾患」 山王病院呼吸器センター 永田泰自 教授
- 14：20～15：20 「膠原病と歯科治療—ステロイド治療時の注意点—」
慶應義塾大学医学部リウマチ内科 亀田秀人 講師
- 15：20～16：20 「安全で良質な歯科治療のために必要な情報を得るには
適切な照会状の記載が重要です」
東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座 片倉 朗 教授
- 16：20～ 閉会の辞

参加費：歯科医師 1万円，コメディカル 6千円

事前登録締切：平成 25 年 9 月 20 日（金）まで

先着 120 名となりますので、お早めにお申込みください。

※ 本セミナーの受講は、将来の認定医取得・更新の際に必要となります。

お申込み・お問合せ先：一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 事務局

TEL：03-5924-3621 FAX：03-5924-4388

E-mail：yubyousha@jjmcp.jp

〒115-0055 東京都北区赤羽西6-31-5 (株)学術社内

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 第3回学術教育セミナー 参加申込票

FAX : 03 - 5924 - 4388 E-mail : gakkai@gakujuysusha.co.jp

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 事務局

一般社団法人日本有病者歯科医療学会 第3回学術教育セミナーに参加を申し込みます。

氏名	所属	電話番号	所属先の住所・郵便番号

- 氏名、連絡先（所属、電話番号、郵便番号・住所）は、必ずご記入ください。
- 受講料（歯科医師 10,000 円、コメディカル 6,000 円）をお振込み後、「参加申込票」をお送りください。その際、受領書・領収書を必ず添付してください。
 - * 振込は 9 月 20 日（金）までをお願いいたします。
 - * 振込手数料は、参加者負担をお願いいたします。
 - * 複数人数で申し込む場合は、振込される方に○印をお願いいたします。

受講料：歯科医師 10,000 円、コメディカル 6,000 円

申込方法：「参加申込票」に必要事項を記入し本学会事務局へ FAX か E-mail でお申込ください。
(FAX : 03-5924-4388, E-mail : gakkai@gakujuysusha.co.jp)

同時に、下記口座まで受講料をお振込みください。

「参加証」は 9 月下旬頃、お送りする予定です。

振込み名は必ず氏名を先に入力してください。定員となり次第、受け付けを終了いたします。

振込先：銀行名：三井住友銀行 飯田橋支店
口座名：日本有病者歯科医療学会
口座番号：（普通）5209226

連絡先：一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 事務局
東京都北区赤羽西 6 - 31 - 5 (株) 学術社内 TEL : 03 - 5924 - 3621

領収書 貼付箇所

指導医・認定医申請について

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会
会員各位

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会
理事長 今井 裕
専門認定委員会委員長 大木 秀郎

日本有病者歯科医療学会認定医制度 認定医申請についてご案内を申し上げます。

本学会会員の先生方を対象に認定医申請を受付けます。学会ホームページの暫定期間認定医申請要項をご詳覧のうえ、ご申請くださいますようお願い申し上げます。

また、暫定認定制度規則第4条に基づき、認定医の申請に併せて指導医の申請も受け付けます。該当する先生におかれましては、認定医同様、暫定期間認定医申請要項（暫定認定制度規則 第5条～第12条）をご詳覧のうえ、ご申請ください。

なお、審査に関する具体的な日程につきましては、申請書類の審査後、認定試験を平成26年1月26日（日）に実施する予定ですので、申請される先生におかれましては、今後の日程にご留意ください。

記

申請書送付先：下記事務局宛に郵送でお送りください。

提出期限：平成25年10月11日（金）必着

銀行名：三井住友銀行 飯田橋支店

口座名：日本有病者歯科医療学会

口座番号：（普通）5209226

申請料：指導医、認定医：各10,000円

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 事務局
〒115-0055 東京都北区赤羽西6-31-5 (株)学術社内
TEL：03-5924-3621 FAX：03-5924-4388

E-mail:yubyousha@jjmcp.jp

第23回(社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会のご案内(第2報)

第23回(社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会

大会長:喜久田利弘

第23回(社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会を下記の要領で開催致します。
皆様多数のご参加とご発表をお願い申し上げます。

記

会 期: 2014年3月21日(金), 22日(土), 23日(日)

大会テーマ:『原点回帰ー患者の基礎疾患を読むー』

会 場: 福岡国際会議場 〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

大 会 長: 喜久田利弘 福岡大学医学部歯科口腔外科学講座 教授

副大会長: 長谷 宏一 (社)福岡県歯科医師会会長

日 程: 3月21日(金) 理事会, 代議員会, 各種委員会

3月22日(土) 学術大会, 社員報告会, 会員懇親会

3月23日(日) 学術大会, AHA-BLS コース, ICD 認定講習会

企 画: 基調講演 :『歯科医療の責務ーその現状と未来ー』 日本歯科医師会会長 大久保満男 先生

理事長講演 :『本学会の進むべき姿』 獨協医科大学医学部口腔外科学講座 今井 裕 先生

海外招待講演 :『タイにおける有病者の歯科外科治療』

Dr. Chumpot Itthichaisri (Chulalongkorn University)

特別講演 :『良い印象の言葉力』 元NHKアナウンサー 宮本 隆治 殿

県民公開講座 : 幸せはお口の健康から!
健康寿命をのばすためにできること～心臓病, 糖尿病と歯科治療～

シンポジウム : BRONJの外科治療, 周術期口腔機能管理を要する癌治療,
新しい抗血栓療法と抜歯, 歯科と関連する全身疾患, 循環器疾患と歯科治療,
円滑な地域連携のためにできること

学術教育研修会: 有病者の安全な周術期管理～鎮静法を中心に～

教育講演 : 臨床研究のあり方について

口演/ポスター発表, ランチョンセミナー, AHA-BLS コース, ICD 認定講習会

演題募集期間ならびに提出方法:

演題募集期間は2013年10月開始予定です。詳細は追ってお知らせ致します。

大会事務局: 第23回(社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会準備委員会

準備委員長: 瀬戸 美夏

〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45-1

TEL: 092-801-1011 (3537) FAX: 092-801-1044

E-mail: jsdmcp23@fukuoka-u.ac.jp

巻頭言

『有病者歯科医料の研修は？』

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

編集査読委員 倉科 憲治

高齢者の増加によって高齢化社会といわれるようになって久しい。昨今は、超高齢社会と呼ばれるそうであるが、ますます“いわゆる有病者”が歯科診療施設を受診する機会が増加している。それに伴い診療を提供する側に特別な知識、技術などが要求されるようになってきている。診療内容、侵襲の程度などにより要求されるものは異なるとはいえ、すべての歯科診療従事者に求められるものである。その点から本学会の認定医制度、研修制度は多に意義のあるものと考えられる。われわれの病院も本学会の研修施設として認定されているが、研修を施す立場としては有病者歯科医療における教育・研修は少し特殊なものと感じられ、どのような研修が理想的で有効なのか迷ってしまう。

私が研修を受けたのは口腔外科治療を主体とする医学部の大学病院であったので、手術ができるようになるというのが目標で研修も技術的なものが主なものであったような気がする。もちろんそのために技術以外の知識、例えば病変そのものに関する知識、診断・検査に関するもの、一般外科の知識等も必要であるが、どちらかと言えばそれらは自分で学ぶべきものという雰囲気であった。一方、手術に参加する、あるいは手術を見学するというのは技術を覚えるとかコツをつかむ上で必須であり、指導者によっては実際の手術中に説明してくれる場合もあった。これに対し、有病者歯科医療においては、技術的な面では一般的な歯科医療技術が基本なので特別なものというのほとんどないと考えられる。特別な技術を必要とする歯科医療分野というよりは、特別な知識や配慮を要する歯科治療の分野といえる。このことが有病者歯科医療の研修を考える上で他の歯科治療分野と大きく異なる点で、極論を言ってしまうと自分で研修できる部分もかなり多いということになる。特にさまざまな手段で情報収集が可能な今日では以前より容易になってきているといえる。しかし、研修施設でいわゆる有病者の歯科治療を経験することは非常に有効で研修制度は不要ということにはならない。臨床の場では実際に患者さんをみて、実際に接することが最も有効であるのは他の分野の研修と同じことである。ただ、研修を指導すべき立場でどのような研修方法が一番よいかと考えると答えを出すのは非常に難しい。

現在はそれぞれの研修施設で工夫しながらやっているものと考えられるが、施設ごとの特殊性や診療内容の違いによってさまざまな研修方法があると考えられる。この点に関して情報を交換できるようになればよいと思う。

編集後記

日本有病者歯科医療学会雑誌も22巻2号を発刊することになりました。学会も発足当初から考えると、今年が22回目となり偶然とは言え、この学会発足からの歴史と発展は考え深いものがあります。私の記憶ではこの雑誌も、はじめは年1回の発刊であったように思いますが、その後すぐに年2回の発刊へ、そして今年4回の発刊するようになっております。患者の年齢層や疾病構造の変化に伴い、この学会で取り上げる課題が多くなったこと、有病者に対する考え方が大きく変わったことではないでしょうか。今や65歳以上の高齢者が3,000万人もいるといわれ、合併症を有しない患者さんが歯科を受診されるのが珍しい時代になってきつつあります。当然ではありますが患者さんを全身的な見地から診察に入り、医科各科との対診や連携を含め、常に安全で安心できる医療を提供するのが我々の責務であります。

また長らくこの学会を引っ張って来られた前理事長の白川正順先生が、今年6月に日本歯科大学を退官され、理事長職も引かれました。新理事長には獨協医科大学の今井裕教授が選任され、また新しい道を歩みはじめました。今後この学会がますます発展してゆくことを願っています。

さて今回発刊の22巻2号には6編の論文が掲載されています。なかでも「口腔環境評価と専門的口腔ケアの有用性」「口腔ケアによる誤嚥性肺炎減少の効果」は口腔ケアがいかに大切かを示したもので、当然のことながら高齢者や精神疾患を有する患者のみではなく、口腔内をきれいにすることによって、いろいろな疾患を予防することにもつながると思われ、医療従事者のみならず一般国民にも理解してもらうよう努力することが大切だと思います。

(編集査読委員 篠崎 文彦 記)